

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012300 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	010000 林業振興対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、間伐材製品の設置により森林整備の必要性の啓発を行う。						林業振興に対し、森林のもつ機能の維持と保全と共生が図られる。						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	丸太階段20段、ベンチ大13台、ベンチ折込9台、丸太ベンチ6台 緩衝帯整備0.9ha 松くい虫伐倒処理53m <sup>3</sup>
平成26年度 実績	平成27年度 予定
丸太柵L=73m ベンチ大11台、ベンチ折込5台、 松くい虫伐倒駆除70本	丸太柵L=20m ベンチ大2台 ベンチ折込5台 松くい虫伐倒駆除70本

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		3,758	3,473
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	913	970
	地方債	0	0
	その他	252	1,000
一般財源		2,593	1,503
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.3	0.4
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	817.5	1,090.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,503.3	1,775.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		5,261.3	5,248.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	501	間伐材ベンチほか
13節 委託費	2,298	坂田山共生の森施設管理委託料、草刈等委託
15節 工事請負費	594	遊歩道パネル柵整備工事
19節 負担金補助及び交付金	344	県治山林道協会負担金ほか
その他	21	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,150	坂田山共生の森施設管理委託料、草刈等委託
15節 工事請負費	520	遊歩道パネル柵整備工事
19節 負担金補助及び交付金	875	県治山林道協会負担金ほか
その他	928	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	森林づくり支援金を活用しての「ベンチ」等の間伐材製品と遊歩道の整備、松くい虫伐倒駆除の事業を実施することで森林のもつ機能の維持と保全を図ることができた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	間伐材製品の木の良さが伝わった。坂田山の整備により地域に親しまれる身近な里山として多くの人が集う場所となった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	「坂田山共生の森を愛する会」による遊歩道の整備や草刈りなどの維持管理によりコスト削減。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

ベンチなど木の温もりを肌で感じる事ができた。  
坂田山共生の森は「坂田山共生の森を愛する会」の維持管理により地域に親しまれる身近な里山になっている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
森林づくり支援金を活用できた。		森林の持つ多面的機能の維持、発揮には間伐が必要であること、及び間伐材を利用した製品のPRを海賊する。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	